

行事写真

11月16日、橋本夫妻によるギター演奏会、17日は松福芸能さんの舞踊ショーがサンビレッジ通所リハビリにおいて開催されました。



御年86歳、の元気な踊りです…

カメラ 郡 誠司



中島 榮

「吾輩は猫である」ではなく、私は「クロ」と名づけられたネコです。

身体は黒く、四本の足先は白、口元も白いです。そもそも、私は目も見えないまま、同じ鳴き声のする兄弟らしいネコと一緒に雨の中へ捨てられました。もう身体は動かなく、隣にいて「シャーッ」と鳴いていた兄弟の声もしくなり、細々と雨にうたれていました。

すると、人間様の声がして私の身体は「ふわっ」と浮き上がりました。「こんな雨の中、まだ目も開いていないのに棄てられたんかー？ あーあ、もう一匹は死んだらわ・・・」まだ子供の様な声の持ち主は朝刊を配る新聞少年でした。配達を終えて家に帰る途中、私を見つけてくれたのでした。

少年は首に巻いていたタオルで私をくるんで、合羽と着ている服の間に抱き込んで走り出し、家に帰り「母ちゃん、ネコだよ。」と言うと、母ちゃんは、「何だね、まだ目も開いていないネコをどうするん？」と少年を叱りました。

少年は黙ってやかんの湯を桶に取り、タオルごと私を湯につけて身体についている泥やゴミを洗ってくれました。古い布にくるんでセーターと上着の間に抱き込み、牛乳を買いに店に行き鍋で温め、綿に含ませて口の中に

流し込んでくれました。何度も何度もこれを繰り返し私の命を救ってくれたのでした。

この少年は、小学五年生で朝刊配りの「作ちゃん」でした。でも、この日作ちゃんは学校を休んでしまったのです。次の日、先生にひどく叱られたようです。何日か経って、その日の出来事を知

り、先生は「学校を休むことは良くないが、君は優しい子なんだね。」と肩を叩くと叩き「もう、休むんじゃないよ。」と言ってくれたそうです。それから米沢先生は「どうだい、ネコ君は元気かい？」と笑うそうです。

今、私は作ちゃんが学校に行くときには、後になり先になりながら校門まで送ります。途中、新谷と言う家の前に大きなシェパード犬がいるので怖くて困った時もありましたが、作ちゃんが学校のブロック塀の上を通れるように上げてくれました。教室に入るまで塀の上で見送り、帰日もブロック塀の上を通り桜の木の枝から降りて犬君にほえられず家に着きます。

この家の母ちゃんが、大きな雑巾をいつも上り口に置いていたので、私はこの雑巾の上で足を拭きます。初めごろは「汚い！」と言われ叱られましたから・・・この家の母ちゃんは仕事で、作ちゃんより先に家を出ます。

昼のサイレンが鳴ると急いで塀の上を渡り、作ちゃんを迎えに行き、抱っこしてもらって帰ります。昼ご飯は作ちゃんのを少し分けてもらいます。白菜の漬物でも作ちゃんが皿に入れてくれるものは何でも頂きます。隣のおばさんが言います。「クロ、お前は漬物でも食べるんだ

ね、変なネコだよ。」こう言って良く冷やかします。作ちゃんは時々友達と、小さな伝馬船で牡蠣筏のそばへ釣りに連れて行ってくれますが、私は怖くて大嫌いです。けれど私を抱っこして船に乗せてくれるので仕方なく作ちゃんのそばにじーっとしています。チャプチャプと小さな波が船ペリを打ちます。怖くてたまらないのですが「ニヤン！」とも言わず釣りの終わるのを待ちます。牡蠣筏のそばは小魚がよく釣れて今日も大漁です。



色んな事があり、月日も過ぎて作ちゃんは六年生になり受け持ちの先生も変わりました。でも、通学の行き帰りは今でも送り迎えを続けています。もちろん雨の日だって平気です。帰る道で、「おいクロ、重くなったね。」と作ちゃんは笑っています。受け持ちの先生が変わっても、米沢先生は、「おい作一君、君のネコのクロ元気かい」と笑いながら声をかけてくれるそうです。作ちゃんは今でも、朝の四時半に起き

す。家に帰ると母ちゃんが「クロ！  
作ちゃんが帰ったよ！」と私を呼んで  
くれます。

私の名前は「クロ」「白い靴のネコ」  
と呼ばれながら、命の恩人「新聞少年  
の作ちゃん」と仲良く生きています。

“クロ”より皆様へ、  
読んで頂きありがとうございます



## シベリアへ送られて

郡 誠司



\* 風(しらみ)・洗濯・

滅菌(煮沸、高温) サウナ\*

自慢する程の話ではないが、昨年ラ  
ーゲリへ入所してから二回遠くの入浴行軍  
があつてから、その後長期にわたり入浴  
が無かつた。ラーゲリの兵たちは洗濯が  
出来ずに虱が発生しました。兵達は煮沸  
出来ればと良く知つてはいてもそれは出  
来ない。気のきいた兵は飯盒を持って作  
業場に行き、昼休みを利用して湯を沸か  
し煮沸滅菌を行つていた。現地の人たち  
といえば洗濯をしているのを見ていな  
い。そうだろう、極寒の下では凍つてし  
まつてどうにもならないではないか。そ  
れが高温滅菌につながっている。現地の  
人たちは入浴場に入りサウナに入つてい  
る間に着のみ全体を乾燥させるので、垢  
が付いていても良く乾いているから着心  
地が良いのだろう。寸評として残してお  
きたいものである。

\* 火縄に火打石と鉄片\*

この地に来てから現地の人達がマッチを使  
うのを見たことがない、皆無と言つてよい。  
タバコを吸うにも厨房で火をつけるにもすべ  
てが火縄に頼つていた。火縄の先端に火打石  
を抱き合わせ鉄片で石をかすめて発火した火  
花を火縄に留め、軽く吹いて火を大きくして  
は火種にしていった。これが日常の習慣だつた  
のである。

ラーゲリの兵隊たちもこれに習い火種を作  
つてはタバコを吸つていた。こんな体験をす  
るなんて未だかつてない話題になるだろう。

\* 建築の基礎作業\*



作業場の名稱などを挙げれば限りがない。  
殆どが基礎の掘り方からベトン打つまでの  
一環作業だつた。広い原野の杭の一本も打つ  
ていない監督の指示箇所、広く深い穴をい  
くつも掘つてゆく。実に大雑把そのものと言  
える

掘り方が終わると型枠作りに入る。二人一組  
で木工作业を始める。現地の人達が使つてい  
る道具といえば、二人引き鋸と斧だけであ  
る。釘として鋼鉄をプレスしたらしい物であつ  
た。尺というものがない。すべてがその場に  
合わせて作り上げてしまう。型枠づくりでつ  
ながつた広さをみると大きな建物が出るだ  
ろう。

この頃現場の端っこに、二層作りの大型の  
ミキサーが据わつていた。ミキサーの運転者  
はどの作業場でも顔を合せず、マダム・ナタ  
ーシャだつた。二層目の上屋に二人のクレ

ン係がいて、下手外部に居る兵たちが砂、バ  
ラス、セメントをバケツトに入れたのを順次  
引き上げてはミキサーに入れてやる。

材料の投入を確認すると、スイッチ・オン  
練りあがつたベトンは、三人の兵がついてか  
き出し、出口で待機の一台一台の一輪車に入  
れてやる。現地の一輪車は鉄車輪であるか  
ら、これを通る板レールを敷いてやらねばな  
らない。手間のかかることが多い。一輪車は  
基礎へ行つてはベトンを投入してはの練り返  
し、こんなことが続く作業場の一端を記して  
おきたかつた。

\* ロスキーの一計\*



ラーゲリの兵にも頼馬なのがいて、石鹼を  
タバコに交換したくて作業場に来ていた大人  
と話をすれば良いものを、その機会もなく止  
めておけばよかつたものを、フェンスの外に  
いる三人の少年たちに、上手く騙されてしま  
つたことがあつた。

この三人の少年たちは、兵が石鹼を持つてい  
るのを知つていて、「セツケン、セツケン」  
と手を伸べてはコールする。兵もついついそ  
の氣運に乗せられ交換することになった。最  
後に石鹼とタバコを取り換える折、注意すれ  
ばよいものを兵はあっさり受け取つたが、  
包の中身はオガクズだつたので、がっかりし  
ていた。ロスキー三人の少年たちは遠くへ逃  
げホクソ笑んでいたに違いない。

\* 入浴場完成\*

ラーゲリには未だ水道設備が無く、厨房も  
水の運搬が続けられていました。昭和二十一

年シベリヤにも春の訪れがありました。暖かくなつて  
水道設備のため、深い堀を掘る作業が続けられていま  
す。深さ三メートル、幅一メートルという。極寒地で  
あるから、凍結を防ぐためなのです。

我々が直接恩恵を受けるのですから各作業隊から四  
人が毎日交替で堀開作業に参加しておりました。深く  
なるにつけ、中間に一段、土の受け入れ場を作つて  
は、二段構えで掘り続けました。

堀開が終われば作業兵は引き上げましたが、その後何  
時水道管が敷設されたのか知らずにいたが、厨房にも  
水が出るようになっていました。

浴場棟の完成を見ました。広い建物でしたよ。入口  
を入ると散髪室、兵たちはここで頭を刈り合しま  
す。髭剃りに限り本職の係が刺つてくれます。この部  
屋を奥へ入ると脱衣室です。着たもの全部を鉄輪に通  
し隣の高温滅菌室へ預けます。

裸の兵は浴場に入ります。随分と広い部屋でした。  
全部板の間ですから、座つて肌触りが良かったのを良  
く覚えています。片隅に三助兵が湯を入れた樽の前に  
陣取り、前以つて貰つていた花札大の板片二枚を持  
つていました。一枚につき大きな木箱にいつぱいの湯を  
もつて、石鹼で体を洗い二杯目で仕上げとしていま  
した。終わりに反対の出口に待機していると熱い衣服  
が出てきます。これらを身に着けてそれぞれの棟へと  
帰つてゆくのでした。

ラーゲリにはサウナはありません。春らしくなると  
毛織物の上下を返納して被覆係が保管消毒して次に備  
えていました。  
(次号へつづく)

## クリスマス会のお知らせ

日時 12月19日(月)

会場 アネックス一階デイルーム

ギター演奏・舞踊・ビンゴゲームで楽  
しい時間を過ごしましょう。お茶も用  
意してあります。皆様のご参加お待ちし  
ております。 スタッフ 一同

